

特 集

血管外科的手技を要する 肝胆膵・移植手術

肝胆膵外科医は扱う臓器が大血管に隣接するという特性から、血管外科的な手技を要する手術が多い。門脈，肝静脈，下大静脈などの静脈系ばかりでなく，肝動脈，腹腔動脈，上腸間膜動脈などの動脈系における切除・再建は生命予後に深く関わる手技であり，適応は慎重で手技は正確かつ安全でなければならない。本特集では肝胆膵・移植外科領域で大血管を扱う代表的な術式について，第一線で活躍するエキスパートにその適応や手技，合併症対策についてまとめていただいた。